

平成26年度

第7回阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成26年度第7回阿波市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成26年11月4日(火)
開会 午後12時30分
閉会 午後1時55分
- 2 場 所 吉野支所 2階会議室
- 3 出席委員
委 員 長 安 田 佳 子
委員長職務代理者 重 清 由 充
委 員 大 塚 清
委 員 森 勝 正
委員(教育長) 坂 東 英 司
- 4 会議出席者
教 育 次 長 吉 田 一 夫
教 育 次 長 高 田 稔
教 育 総 務 課 長 那 須 啓 介
(書記) 教育総務課課長補佐 笠 井 久美代
- 5 付議事項
 - (1) 前回会議録の承認について
 - (2) 教育長の報告について
 - (3) 教育委員会事務事業の点検及び評価について
 - (4) 準要保護の認定について
 - (5) その他

会議の概要は、次のとおり。

【安田委員長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【吉田教育次長】第6回定例会の会議録について説明する。

〈質 疑〉

なし

【安田委員長】「前回会議録の承認について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【安田委員長】教育長に報告を求める。

【坂東教育長】9月26日から11月4日までの、主だった教育委員会行事等について報告。

〈質 疑〉

【森委員】9月26日の地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正説明会ということですが、どのようなことが変わるのでしょうか。

【坂東教育長】新しい委員会制度が来年の4月1日から始まりますので、教育長は市長が選出するとか、総合教育会議を立ち上げそれぞれの方針で行う等の説明がありました。

【森委員】今まで言われていたことですか。

【坂東教育長】今までは文章だけでしたが、国のほうから説明がありました。

【安田委員長】委員長制度がなくなるのですか。

【坂東教育長】そのようになります。教育長と委員になります。

【吉田教育次長】今の教育長の任期中については今のままの体制です。

【安田委員長】委員長は、3月31日で終わりですか。

【吉田教育次長】教育長を4年の任期で任命しております。任期が終わる前に市長が議会で任命して承認をもらいます。その時に、教育委員長制度がなくなります。それまでは、今の体制と同じです。来年の4月1日から総合教育会議を立ち上げます。

【那須教育総務課長】4月から変わるのは、総合教育会議を市長部局で行うことです。

【安田委員長】市長が入る会議は、4月からですか。

【吉田教育次長】そうです。予算の話とかも行います。市長部局と教育委員会の会議をすることで、今までになかった事柄を共有することです。人事権とか介入してはいけないところは明記されております。そのなかで、教育振興計画を作っておりますがその上の、教育大綱を作ることになります。阿波市は教育振興計画がありますから、その中に基本方針も含まれてい

ますのでそれに変えることができますとなっておりますので、総合教育会議の中で協議していく課題となります。

【那須教育総務課長】教育委員会は今までと同じく会議を行い、教育総合会議は、最低年1回の会議となります。

【吉田教育次長】回数は決まっております。

【重清委員】10月30日に阿波市人権教育研究大会があり、私は八幡幼稚園に行つてまいりました。その時の報告をいたします。幼稚園では、体を動かして遊ぶ、ごっこ遊び、秋の自然物を使って作ったり遊んだりするというをしていました。何箇所かで、レストランごっこをしたり、リズム室では輪投げをしたりしていました。体育指導員さんが教えてくれるマット運動をして楽しく遊んでいました。

講演としましては、「豊かな感性を育むために」と題して、青木先生が講演されました。青木先生は、7月にも事前に八幡幼稚園を訪問いただき、子どもたちに対してのアドバイスやご指導をいただいたとのこと。先生の感想といたしましては、認定子ども園ができすばらしい環境のもと幼保一体となって生活できていること、また、秋の深まりを感じる環境も構成もできている。他園にくらべ、野菜、植物を育てる場所がほとんどないが、いろいろな大きさのプランターを利用し、8種類ほどの芋を育てたりオクラを育てたり、子ども達も水やりをすることによりいろいろ発見に驚きと喜びを感じるようでした。また、道徳性の芽生えを培うために、自然を通して大きさ、美しさ、不思議さを身体全体で感じる事が大切なので季節に応じた、環境、構成、支援を常に考えることが大切だと。また、身近な動植物の世話を通して、命の大切さ、優しさ、思いやりの心を育てる表現、声かけをしながら動植物の世話をすることの大切さ、絵本に親しむことにより、いろいろな言葉を覚え、想像力、豊かな心を育み相手の気持ちがわかり自分のこともわかる子に育つ。環境構成については、発達段階にあった環境構成が大切で、子どもが主体的、積極的にかかわっていく環境が大切。

教師の役割については、1番は子どもの活動のよき理解者であること。2番は共同作業者であること。子どもの目線に立ってかかわること。3番はあこがれのモデルとなってかかわること。4番は遊びが深まっていなかったらアドバイスし、支えることが大切である。5番は精神的安定のよりどころであること。こういったことをふまえながら、保育所、幼稚園の先生が連携し、子どもの発達段階に応じた指導ができるよう、そしてこうした大会の時だけでなく指導案の中で評価反省すること、常に評価反省する時間を持ち先生方がしっかり話し合うことが重要であるとのことの講演がありました。報告いたします。

【大塚委員】大戸井委員と市場中学校の研究大会に出席しました。全学年見せていただきました。それぞれ学年ごとに特徴のある授業でした。峠というよく使われる題材をもとに授業が行われ、生徒はしっかりと発言をしておりました。その後、1年生は体育館でリンツ先生の司会で孤立を感じた時、自立ということで話し合い、少しのことで孤立を感じるとのことで多くの意見が出ていました。自立ということでも話し合いがあり、怪我をしたときでも自分で解決しようとし

たときが自立と思っていたが、友達に頼っていくことが自立につながり本当の自立は、友達に頼ることでまた友達が困っているときは相談に乗ることにより自立につながり、そう思うことにより自立につながったという意見が出ました。私たちが考えている自立とは少し違っているなど感じました。リンツ先生の司会により活発な意見が次々と出ておりました。時間が足りないくらいで1年生は積極的でした。自立の考え方を、私たちが考えさせられました。

【森委員】私も市場中学校の研究大会に出席しました。非常に考える時間を取っていたと思います。日常生活の中でも問題点を話し、あるいは今活動していることが次々つながり日常の常時活動に生かされるような形にしないと、心は育っていかないと思いました。生徒がメモしているのを見て発言するのではなく、それを見なくても周りの意見を受けて同調したり反論したりする話し合いができればもっと良くなるのではないかと思いました。先生が中心で意見を言い合う形でなく、生徒の発言に対して生徒が意見を言う、生徒同士の話し合いで満足したり、勇気が出たり、支えあったり、反発したり、だけど話しているうちに理解しあえたりする総合的なことが必要になると思いました。生徒達も授業に集中し真剣に取り組めていたと思います。

【大塚委員】帰りに廊下であう生徒たちは、全員気持ちのいい挨拶をしてくれました。

【坂東教育長】10月24日に土成中学校で四国小中道徳教育研究大会徳島大会が開催されました。欠席者もなく落ち着いて授業を受けていました。その後ノロウイルスの発生があったとのことで帰庁しました。

【森委員】ノロウイルスの話が出たのですが、その後どのようなになっていますか。

【高田教育次長】24日の朝一番に伊沢小学校の2年生に10名くらいの欠席報告がありました。一人だけが前日にノロウイルスの報告がありましたので校長先生がほかの児童も同じような症状だということで間違いなくノロウイルスだということで、急遽学級閉鎖をいたしました。県教育委員会、保健所、給食センターに連絡しました。その時に学校に登校している2年生の児童を帰らせました。帰らせるときに、放課後児童クラブとかに行っている児童もいますので、関係団体に連絡する中で、嘔吐下痢のある児童については病院を受診するようにと、しばらくの間接触しないようにと指導しました。金曜日だったのですが、週明けには少し休んでいましたが伊沢小学校の2年生だけで終わりました。発生源はわかっておりません。活動しているときに友達に広まったと思います。最初に発生した児童に登校しているときに粘土細工の授業がありましたが、粘土は汚染物質ということで処分しました。そのほかに水回りの消毒も念入りに何度もしていただきました。

【安田委員長】早い対応が良かったと思います。

【重清委員】その家庭には指示をされたのですか。

【高田教育次長】2年生にはもちろん文章で対応しました。休んでいる生徒には、電話連絡をしました。学校に来ている児童に対しても、保護者の迎えをしてもらい児童の受け渡しの時に事情を話しています。校区内の幼稚園に対しても各家庭に電話連絡してもらいました。阿波町すべての学校に文章でノロウイルスの警戒についてお知らせしました。教育委員会も、ノロウイルスが発

生しましたので警戒してくださいと文章でお願いしました。

【森委員】対応が早いのと、こまめに電話連絡したのがよかったです。

【高田教育次長】給食センターも心配していました。その子が食べた食器を回収します。食器に関しては、塩素系のもので特別に消毒し熱処理し、搬送車にしても別に洗浄をしております。

【森委員】給食センターの調理員の方が持っている場合にはいろいろ内規があって調子の悪い時には出勤しないとかそれを守っていただければ今の施設では大丈夫だと思います。

【大塚委員】今回のような対応ができれば抑えられるということですね。

【安田委員長】完璧な対応をしていただいたと思います。

【大塚委員】このように対応をしたら大丈夫ということを知っていただけたらと思います。

【高田教育次長】週明けにも3日間すべての学校の欠席調査をしましたが、終息したようです。

【安田委員長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 教育委員会事務事業の点検及び評価について

【安田委員長】事務局に説明を求める。

【吉田教育次長】教育委員会事務事業の点検及び評価についての説明を行う。

〈質 疑〉

【森委員】国際教育121番についてですが、中学校はALTが入っていますが、小学校には週1回英語の授業をしていると思います。これからも続けていくのですか。

【吉田教育次長】これは教育振興計画で決めています。幼稚園では、国際交流の実施ができていません。英語教育は進んでいるのですが、振興計画の中のように進んでいないのでC評価となります。

【森委員】国際理解ということで、県から派遣してもらえるところがあるので、講師の先生を派遣してもらっていったらどうですか。以前、阿波市内には中国出身のかたが多いので中国語講座をしたらどうかという話があったのですが、社会教育の中で中国講座はありますか。英会話教室はありますが。

【坂東教育長】市民講座のなかで韓国語と中国語があります。

【森委員】社会教育の講座を増やしていかなくてはいけないと思います。

【吉田教育次長】国際交流の件は6月議会で質問があり、主に短期留学の話をしました。県内では石井町が10万円の補助をしており、それを阿波市で取り入れることはできないかということです。今は英語教育を進めていくことが一番となっています。

【森委員】10万円の補助があってもなかなか難しいですね。

【安田委員長】先ほど森委員がおっしゃっていたのですが、小学校に日本語が喋れる違う国の方を呼んで、生活について質問に答えてくれるとか、出前授業のようなことがあればいいと思います。

【坂東教育長】小学校は国際交流という学習があります。県の国際交流協会に申込み、外国の方の派遣をしていただき、その国の生活を学び交流をしている学校もあります。

【安田委員長】こういう目標をあげているので、学校でも取り組めたらと思います。

【重清委員】120番のところの幼稚園からの英語活動の実施は平成24年から検討されていますが、平成25年までは実施していないとなっていますが、今後対策等として実施していく計画はあるのですか。

【坂東教育長】校長会で話が出たのですが、ALTの先生は学校の行事の時はあいていますので、時間が合えば幼稚園に行ってほしいとお願いはしています。

【安田委員長】幼稚園もいろいろ行事があるので大変だと思いますが、時間が合えば行けばいいと思います。体育の先生は人気があるみたいですね。ボランティアは中学校は積極的に行っていますが、小学校はどのようになっているのでしょうか。高校はイベントごとにボランティアしていますが。

【森委員】小学生は難しいです。行事的にすると外からのおしつけになるし、気持ちのうえで誰かのためにするというところで結果的に人のためになるというふうにもっていかないと、将来的に発展しないと思います。

【大塚委員】イベントごとではなく、日常のことでゴミをひとつ拾ってくずかごに入れることでも、その積み重ねだと思います。神社のゴミを拾っている方を見かけますが、不自然ではなくごく自然に行っています。そういうことを積み重ねていくことがボランティアでないかなと思います。

【安田委員長】ボランティアは難しいと思います。103番の子ども会のことがあります。子ども会の運営も難しくなりました。今年から二人の方の所見をいただいてよかったです。

【大塚委員】いろんな意見があるのでいいと思います。

【森委員】事業内容は多いですね。充実させたいということもあるのですが、重点的にどれかというやり方もあるのではないかなと思います。

【安田委員長】総合評価は担当部署の担当者の自己評価です。

【吉田教育次長】客観的な評価というのがないので、同じことをしても評価する人によって違ってしまいう課題があります。C評価でも外からみたらA評価でないのかなとか、A評価はもっとできるのでないかと思うものもあります。

【安田委員長】124番のパワーアップの柿原の生徒は2人しかいないけどA評価です。先生は一人いますよね。

【坂東教育長】会場が3つありますので、3人います。

【安田委員長】八幡教室に行ったことがあります。すごく充実していました。

【森委員】柿原小学校では、以前は週2回放課後に自分でドリル学習をしていました。それでパワーアップにかかわるという認識があるのではないかなと思います。

【安田委員長】最近放課後児童クラブに行っているからかもしれません。一人でも多く来てくれたらと思います。

【安田委員長】「教育委員会事務事業の点検及び評価について」を了承する旨を告げる。

(4) 準要保護の認定について

【安田委員長】事務局より説明を求める。

【吉田教育次長】平成26年10月30日の臨時会で説明し了承いただきましたので、取り下げます。

【安田委員長】「準要保護の認定について」の取り下げを了承する旨を告げる。

(5) その他について

【安田委員長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【吉田教育次長】板野郡西部学校給食組合の解散について説明。

〈質 疑〉

【森委員】財産はどのようになるのですか。

【吉田教育次長】解体等に費用がかかります。土地も売却できればいいのですが。

【安田委員長】何をするにしても有料ですからね。

【大塚委員】処理の分の費用は高いし、更地に比べて建物が建っていると売却は難しいと思います。

【吉田教育次長】来年度からの認定子ども園について説明。

〈質 疑〉

【安田委員長】聞かれることもあるかと思うので資料を参考にしてください。

【重清委員】質問はありましたか。

【坂東教育長】説明会が終わってから具体的に個別に質問がありました。

【安田委員長】来年度から認定子ども園は子育て支援課の管轄となりますが、学校訪問はどうなりますか。管轄ではなくなるので、学校訪問の対象にならないのですか。

【坂東教育長】教育委員会管轄としては、幼稚園6園となります。

【安田委員長】認定子ども園になると子育て支援課の管轄ですが、幼稚園のお子さんもおりますので子育て支援課が管轄というのもおかしいと思います。

【森委員】幼稚園教育をしますよね。

【吉田教育次長】内容は文部科学省と厚生労働省両方になります。時間がありますので検討させていただきます。

【安田委員長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成26年11月4日

委 員 長

委員長職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

教育総務課課長補佐